

自然博物館 調査カード

「川・湖沼・海の生態」

見学日： 月 日 天気

中学校 年 組 名前

1 水槽を見てみましょう。ここでは茨城県の久慈川をモデルにして上流から下流までの生態を紹介しています。それぞれ特徴的なことやわかった動物を記録しておきましょう。

(1) 上流

イワナ、ヤマメなど

(2) 中流

アユ、ウグイ、カマツカ、オイカワなど

(3) 下流

キンブナ、ギンブナ、オオクチバス、ブルーギルなど

(4) 磯（海）

サメ、タイ、アジ、ヒトデ、ウニなど

2 湖や沼でいろいろな生き物が生活しているジオラマがあります。これは博物館のとなりにある菅生沼（すがおぬま）をモデルにしています。どんな動物や植物が生活しているでしょう。

動物：カルガモ、カイツブリなど

植物：ヨシ、アカメヤナギなど

3 水そうに各地で天然記念物にも指定されているイトヨという魚がいます。映像もありますから参考にしてください。

(1) 陸封型や降海型って何？

陸封型 陸上の淡水だけで生活するようになったもの

降海型 産卵期だけ川をのぼって、ふだんは海で生活するもの。

(2) イトヨの行動でおもしろいことはどんなこと？

繁殖期になると、オスが赤いものを攻撃する。

4 「湖沼の生き物たちのつりあい」の映像を見てみよう。数のバランスについてわかったことを書いてみよう。

つりあいはとても複雑で、一部が変わるとバランスが崩れてしまう。

5 海は深さによって水圧・水温・塩分の濃さなどがちがいます。そのため、深さによって生活している生き物の種類がちがいます。どのような生き物がいるのでしょうか。

(1) 深いところ（深海）にすむ生き物 水深は（約 300m）

キアンコウ、ヒラメ、マダコなど

(2) 浅いところにすむ生き物 水深は（約 100m）

インダイ、スズキ、フグ、カサゴなど

6 茨城の沖は暖流と寒流がぶつかっています。このようにぶつかっているところを潮目（しおめ）とよびます。

漁師さんにとってはこの潮目が良い漁場となります。

(1) どうしてかな？

たくさんのプランクトンが集まり、それをエサとする魚が集まるため。

(2) どんな魚が集まっているのかな？

カツオ、ブリ、スマなど

7 海には寒流や暖流によって移動しながら生活している生き物がいます。このような魚は回遊魚とよばれています。

(1) 暖流系にはどんな生き物がいるかな？

マイワシ、サンマ、マグロなど

(2) 寒流系にはどんな生き物がいるかな。

ニシン、サケ、マスなど

8 これらの学習であなたが感じたことを書いてみましょう。